

## 平成 25 年度核融合科学研究所技術研究会

吉井 一夫 機械・金属技術分野

山浦 賢太郎 総合安全・情報管理技術分野

### 1. はじめに

本研究会は、大学、高等専門学校及び大学共同利用機関等の技術職員が、日常業務で携わっている実験設備・装置の開発、維持管理の話題から改善改良の話題にわたる広範囲な技術活動について発表が行われる研究会である。発表内容も通常の学会とは異なった日常業務で生まれた創意工夫、苦労話、失敗談等も重視し、技術職員の交流と技術の向上を図ることを目的としている。

従来、分子科学研究所、高エネルギー加速器研究機構及び核融合科学研究所で開催されてきたが、近年、大学で開催されるなど開催機関に広がりが見られる。

### 2. 開催概要

- ・期間：平成 26 年 3 月 13 日（木）～14 日（金）
- ・場所：犬山国際観光センター「フロイデ」
- ・分野：第 1 分科会（工作技術分科会）、第 2 分科会（装置技術分科会）、第 3 分科会（計測・制御技術分科会）、第 4 分科会（低温技術分科会）、第 5 分科会（情報処理技術分科会）
- ・参加人数：271 名



図 1 開会式の様子

### 3. 研修内容

本学からは、吉井、山浦の 2 名が参加し、それぞれ第 1 分科会（工作技術）、第 5 分科会（情報処理技術分科会）において聴講を行った。

第 1 分科会では、市販で入手しづらい特殊な部品の設計・製作、それらに必要な技術の習得や機器の改良・改善に関して、ガラス工作から大型実験装置の部品製作、安全教育等、多分野に及ぶ発表が行われ、技術職員が各々おかれた環境において創意工夫を凝らしている様子が随所に窺うことができた。また、教育機関、研究機関での「工作」では、機能として優れた一品モノを丁寧に製作することの大切さを再認識することができた。

第 5 分科会では、情報セキュリティ・ポリシーの改定作業に参加した技術職員による技術報告や、核融合科学研究所を例とした情報ネットワーク管理に関わる講演等が行われた。ここで紹介された技術について、ホスティングサービスを導入すればホームページを立ち上げたいだけの研究室に対しサーバ管理の負担を軽減させること、FireEye と呼ばれる最新のサイバー攻撃を防御するシステムを導入できれば、システムの安全性は飛躍的に向上するのではないかと感じた。技術職員が行っている情報システムを用いた業務効率の改善への取り組みや、日常業務において培ってきた創意工夫について知ることができ、大いに勉強になった。